



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和2年8月28日(金) 第19号

教育目標 ☆すすんで学ぶ子ども
☆思いやりのある子ども
☆ねばり強い子ども
☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



10年後の近未来



小学校では、本年度から新学習指導要領が全面実施（中学校は次年度から）されます。2016年、12月の中央教育審議会答申では、今回の学習指導要領の改訂は、「2030年の社会と子供たちの未来」を見据えたものであると明記されています。



10年後の近未来、「その予測不能の未来社会を生き抜く確かな力を育てる」ことが今回の改訂の柱でもあります。従来の公式に当てはめれば効率よく答えが出る、暗記していたことが再現できる・・・などにとどまらず、自分なりに課題解決に向け試行錯誤したり、多様な他者とよりよく協働したり、その中で自分の可能性に気づいたり、新たな価値を生み出したり・・・につながる学びを図っていこうとしています。具体的には、論理的思考力の習得を目指す「プログラミング教育」（AIの進化、情報社会の急速な発達）、教科としての外国語（英語でのコミュニケーション能力育成）、特別の教科道徳（物事を多面的・多角的に考え道徳性を養う）等々・・・学習方法もいわゆるアクティブラーニング「主体的・対話的で深い学び」の視点が重視されます。

これまで経験したことがなかった今回の感染症問題、感染拡大防止策と社会経済活動という二律背反的な課題に対して、毎日のようにその解決策についてテレビ等で議論がされています。まさに、公式に当てはまらない、過去に経験したことのない問題に対して、多面的・多角的に考え、試行錯誤したり、協働したり・・・が現実のものになっています。これからの変化の激しい、予測不能な近未来を生き抜く資質・能力を見据えながら今後も教育活動に取り組んでまいります。



海の自然体験を満喫



5年生が1泊2日で行わき海浜自然の家で自然体験学習に行ってきました。四倉海岸貸し切り状態での砂の芸術、自分たちで楽しいを創り上げたキャンプファイア、おいしい食事に海浜オリエンテーリング、いわきの海を満喫できた宿泊学習でした。

